

## 平成30年度 事業評価 (案)

事業名 (箇所名)	国際物流ターミナル整備事業(松山港外港地区)					事業 主体	四国地方整備局																																								
実施箇所	愛媛県松山市																																														
該当基準	社会経済情勢の急激な変化等により再評価が必要となった事業																																														
主な事業の諸元	岸壁(水深10m)(耐震)、岸壁(水深13m)、泊地(水深13m)、防波堤、護岸(防波)等																																														
事業期間	事業採択	平成6年度	完了	平成35年度																																											
総事業費 (億円)	470		残事業費(億円)		71																																										
目的・必要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貨物需要の増大等に伴うパース及びストックヤード不足による他港からの2次輸送の解消とともに、船舶の大型化に対応した安定的・効率的な輸送機能の確保が求められている。</li> <li>・大規模地震時において、海上からの緊急物資等の輸送機能の確保が求められている。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <p>本ターミナルを整備することにより、貨物需要の増大等に伴うパース及びストックヤード不足の解消及び船舶の大型化に対応することで輸送効率化を図り、合わせて耐震機能を備えた岸壁の整備により大規模地震時、海上からの緊急物資輸送等の輸送を確保する。</p> <p>①船舶大型化への対応 ②輸送の効率化 ③震災時における緊急物資等の輸送確保</p>																																														
上位計画の 位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会資本整備重点計画(第4次) 重点目標4 民間投資を誘発し、経済成長を支える基盤を強化する。 政策パッケージ4-2: 地方圏の産業・観光投資を誘発する都市・地域づくりの推進</li> </ul>																																														
事業の多面的 な効果	<p>■政策目標・施策目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標: 国際競争力、観光交流、広域・地域間連携等の確保・強化。</li> <li>・施策目標: 海上物流基盤の強化等総合的な物流体系整備の推進、みなとの振興、安定的な国際海上輸送の確保を推進する。</li> </ul>																																														
	<p>■定性的・定量的な効果</p> <p>&lt;定性的な効果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・輸送の信頼性の向上</li> <li>・道路の混雑緩和</li> <li>・排出ガスの減少</li> <li>・沿道騒音等の軽減</li> <li>・産業の国際競争力の向上・地域産業の安定・発展・地域活力の強化</li> </ul> <p>&lt;定量的な効果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岸壁の整備に伴う輸送コストの削減</li> <li>・耐震強化岸壁の整備により災害時輸送コストの削減</li> </ul>																																														
	<p>■定量的効果のうち投資効率性</p> <p>○便益の主な根拠</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・輸送コストの削減(予測取扱貨物量: コンテナ(実入り)2.6万TEU/年、バルク35万トン/年)</li> <li>・船舶の大型化による輸送コストの削減(予測取扱貨物量: コンテナ(実入り)2.2万TEU/年)</li> <li>・震災時における輸送コストの削減(想定被災人口: 15千人)</li> </ul>																																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">基準年度</th> <th colspan="2">平成30年度</th> <th colspan="2"></th> <th colspan="2"></th> <th colspan="2"></th> <th colspan="2"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B:総便益(億円)</td> <td>1,086</td> <td>C:総費用(億円)</td> <td>866</td> <td>EIRR (%)</td> <td>5.3</td> <td>B-C</td> <td>221</td> <td>全体B/C</td> <td>1.3</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>B:総便益(億円)</td> <td>106</td> <td>C:総費用(億円)</td> <td>73</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td>継続B/C</td> <td>1.5</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>											基準年度		平成30年度										B:総便益(億円)	1,086	C:総費用(億円)	866	EIRR (%)	5.3	B-C	221	全体B/C	1.3			B:総便益(億円)	106	C:総費用(億円)	73					継続B/C	1.5		
	基準年度		平成30年度																																												
	B:総便益(億円)	1,086	C:総費用(億円)	866	EIRR (%)	5.3	B-C	221	全体B/C	1.3																																					
B:総便益(億円)	106	C:総費用(億円)	73					継続B/C	1.5																																						
<p>(感度分析)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>事業全体のB/C</th> <th>残事業のB/C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>需 要 (-10% ~ +10%)</td> <td>1.2~1.3</td> <td>1.3~1.6</td> </tr> <tr> <td>建 設 費 (+10% ~ -10%)</td> <td>1.2~1.3</td> <td>1.3~1.6</td> </tr> <tr> <td>建設期間 (+10% ~ -10%)</td> <td>1.3~1.3</td> <td>1.4~1.5</td> </tr> </tbody> </table>												事業全体のB/C	残事業のB/C	需 要 (-10% ~ +10%)	1.2~1.3	1.3~1.6	建 設 費 (+10% ~ -10%)	1.2~1.3	1.3~1.6	建設期間 (+10% ~ -10%)	1.3~1.3	1.4~1.5																									
	事業全体のB/C	残事業のB/C																																													
需 要 (-10% ~ +10%)	1.2~1.3	1.3~1.6																																													
建 設 費 (+10% ~ -10%)	1.2~1.3	1.3~1.6																																													
建設期間 (+10% ~ -10%)	1.3~1.3	1.4~1.5																																													
社会経済情勢 等の変化	船舶の大型化への対応や港内の静穏性の確保、潮流の影響を軽減させるため、岸壁(-13m)延伸、泊地(-13m)拡幅、吉田浜防波堤延伸を追加した。																																														
主な事業の進 捗状況	総事業費470億円、既投資額399億円 平成30年度末 事業進捗率85%																																														
主な事業の進 捗の見込み	事業が順調に進んだ場合には、平成35年度の完了を予定している。																																														
コスト削減や代 替案立案等の 可能性	泊地(-13m)浚渫工事から発生する良質な土砂を、岸壁ケーソンの中詰砂として有効活用することでコスト削減を図る。 泊地(防波堤撤去)浚渫工事及び防波堤(南)撤去工事から発生する石材を、岸壁(-13m)延伸工事及び吉田浜防波堤延伸工事における基礎工、被覆工として流用することでコスト削減を図る。																																														
対応方針	継続																																														
対応方針理由	効率的な事業の実施を図ることによって、充分な事業の効果があると判断されるため。																																														
その他	<第三者委員会の意見・反映内容>																																														



30土(技)第290号  
平成30年 7月25日

四国地方整備局長 様

愛媛県知事 中村 時広



四国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の  
作成に係る意見照会について(回答)

平成30年7月4日付け国四整企画第18号で依頼のあった標記について、別紙  
のとおり回答いたします。

次の再評価に係る「対応方針(原案)」案については異議ありません。

【道路事業】 2件

事業名	「対応方針(原案)」案	備考
一般国道56号 津島道路	継続	
一般国道196号 今治道路	継続	

【港湾事業】 1件

事業名	「対応方針(原案)」案	備考
松山港外港地区国際物流ターミナル整備事業	継続	

なお、各事業に対する意見は下記のとおりです。

記

① 一般国道56号「津島道路」

- ・津島道路は、四国8の字ネットワークの一部を形成するとともに、平成30年7月豪雨でも効果を発揮した大規模災害時等への対応や、南予地域の活性化などにおいて重要な役割を担う、まさに「命の道」・「地方創生の道」であることから、引き続きコスト縮減に努めるとともに、発生確率がより高まっている南海トラフ地震を踏まえ、可能な限り事業期間短縮を検討のうえ、整備促進をお願いします。

② 一般国道196号「今治道路」

- ・今治道路は、中国やまなみ街道が開通し、しまなみ海道と四国8の字ネットワークを結ぶ南北軸で唯一ミッシングリンクとして残されているため、引き続きコスト縮減に努めるとともに、早期供用に向けた整備促進をお願いします。

③ 松山港外港地区国際物流ターミナル整備事業

- ・引き続きコスト縮減に努めるとともに、吉田浜防波堤の延伸に係る事業費の平準化等について、ご配慮をお願いします。

# 1. 便益の算定表

## ①事業全体：総額

(億円)												
年度	施設供用期間	割 引 前										
		初期投資・更新投資	運営・維持コスト	総費用 (C)	輸送コストの削減便益 (外貨コンテナ)	船舶大型化による輸送コストの削減便益 (外貨コンテナ)	輸送コストの削減便益 (石炭)	船舶大型化による輸送コストの削減便益 (石炭)	耐震便益	残存価値	総便益 (B)	純便益 (B-C)
1994		0.6		0.6								-0.6
1995		4.7		4.7								-4.7
1996		12.6		12.6								-12.6
1997		35.4		35.4								-35.4
1998		44.4		44.4								-44.4
1999		56.2		56.2								-56.2
2000		42.8		42.8								-42.8
2001		36.1	0.1	36.2	9.6					9.6		-26.5
2002		19.8	0.1	19.9	12.5					12.5		-7.3
2003		15.3	0.1	15.4	14.1					14.1		-1.3
2004		14.6	0.1	14.7	13.6					13.6		-1.1
2005		10.0	0.1	10.1	13.4					13.4		3.3
2006		5.6	0.1	5.7	13.0					13.0		7.3
2007		6.6	0.1	6.6	13.2					13.2		6.5
2008		7.1	0.1	7.2	17.4					17.4		10.2
2009		16.9	0.1	16.9	17.2					17.2		0.3
2010		13.5	0.1	13.5	20.4					20.4		6.9
2011		15.0	0.1	15.1	21.4					21.4		6.3
2012		14.9	0.1	14.9	23.4					23.4		8.5
2013		11.3	0.1	11.3	24.2					24.2		12.9
2014		16.0	0.1	16.0	22.3					22.3		6.3
2015		13.4	0.1	13.4	20.0					20.0		6.6
2016		9.8	0.1	9.9	19.2					19.2		9.3
2017	1	11.5	0.1	11.5	22.7		2.3			25.0		13.5
2018	2	7.3	0.1	7.4	22.7		4.3			27.0		19.7
2019	3	10.6	0.1	10.6	22.7		4.3	1.7		28.7		18.1
2020	4	17.7	0.1	17.7	22.7		4.3	1.8		28.8		11.1
2021	5	13.4	0.1	13.5	22.7		4.3	1.8		28.8		15.4
2022	6	13.4	0.1	13.5	22.7		4.3	1.9		28.9		15.4
2023	7	10.7	0.1	10.7	22.7		4.3	1.9		28.9		18.2
2024	8		0.1	0.1	22.9	1.1	7.9	1.8	2.0	35.5		35.5
2025	9		0.1	0.1	22.9	1.1	7.9	1.8	2.0	35.6		35.5
2026	10		0.1	0.1	22.9	1.1	7.9	1.8	2.0	35.6		35.5
2027	11		0.1	0.1	22.9	1.1	7.9	1.8	2.0	35.6		35.5
2028	12		0.1	0.1	22.9	1.1	7.9	1.8	2.0	35.6		35.5
2029	13		0.1	0.1	22.9	1.1	7.9	1.8	2.0	35.6		35.5
2030	14		0.1	0.1	22.9	1.1	7.9	1.8	2.0	35.6		35.5
2031	15		0.1	0.1	22.9	1.1	7.9	1.8	2.0	35.6		35.5
2032	16		0.1	0.1	22.9	1.1	7.9	1.8	2.0	35.6		35.5
2033	17	8.3	0.1	8.4	22.9	1.1	7.9	1.8	2.0	35.5		27.2
2034	18	8.4	0.1	8.4	22.9	1.1	7.9	1.8	2.0	35.5		27.1
2035	19	3.2	0.1	3.3	22.9	1.1	7.9	1.8	1.9	35.5		32.2
2036	20		0.1	0.1	22.9	1.1	7.9	1.8	1.9	35.4		35.4
2037	21		0.1	0.1	22.9	1.1	7.9	1.8	1.8	35.4		35.4
2038	22		0.1	0.1	22.9	1.1	7.9	1.8	1.8	35.4		35.3
2039	23		0.1	0.1	22.9	1.1	7.9	1.8	1.8	35.3		35.3
2040	24		0.1	0.1	22.9	1.1	7.9	1.8	1.7	35.3		35.2
2041	25		0.1	0.1	22.9	1.1	7.9	1.8	1.7	35.2		35.2
2042	26		0.1	0.1	22.9	1.1	7.9	1.8	1.6	35.2		35.1
2043	27		0.1	0.1	22.9	1.1	7.9	1.8	1.6	35.1		35.1
2044	28		0.1	0.1	22.9	1.1	7.9	1.8	1.5	35.1		35.0
2045	29		0.1	0.1	22.9	1.1	7.9	1.8	1.4	35.0		35.0
2046	30		0.1	0.1	22.9	1.1	7.9	1.8	1.4	34.9		34.9
2047	31		0.1	0.1	22.9	1.1	7.9	1.8	1.3	34.9		34.8
2048	32		0.1	0.1	22.9	1.1	7.9	1.8	1.3	34.8		34.8
2049	33		0.1	0.1	22.9	1.1	7.9	1.8	1.2	34.8		34.7
2050	34	8.3	0.1	8.4	22.9	1.1	7.9	1.8	1.2	15.0	49.7	41.3
2051	35		0.1	0.1			7.9	1.8			9.6	9.6
2052	36		0.1	0.1			7.9	1.8			9.6	9.6
2053	37		0.1	0.1			7.9	1.8			9.6	9.6
2054	38		0.1	0.1			7.9	1.8			9.6	9.6
2055	39		0.1	0.1			7.9	1.8			9.6	9.6
2056	40		0.1	0.1			7.9	1.8			9.6	9.6
2057	41		0.1	0.1			7.9	1.8			9.6	9.6
2058	42		0.1	0.1			7.9	1.8			9.6	9.6
2059	43		0.1	0.1			7.9	1.8			9.6	9.6
2060	44		0.1	0.1			7.9	1.8			9.6	9.6
2061	45		0.1	0.1			7.9	1.8			9.6	9.6
2062	46		0.1	0.1			7.9	1.8			9.6	9.6
2063	47		0.1	0.1			7.9	1.8			9.6	9.6
2064	48		0.1	0.1			7.9	1.8			9.6	9.6
2065	49		0.1	0.1			7.9	1.8			9.6	9.6
2066	50		0.1	0.1			7.9	1.8		29.1	38.7	38.7
合 計		535.3	3.4	538.6	1,051.0	28.9	366.8	75.7	56.1	44.0	1,622.5	1,083.8

②事業全体:現在価値換算後

EIRR=	5.3%	NPV=	220.6
B/C=	1.3		

(億円)

年度	施設供用期間	割引後											
		社会的割引率	初期投資・更新投資	運営・維持コスト	総費用(C)	輸送コストの削減便益(外買コンテナ)	船舶大型化による輸送コストの削減便益(外買コンテナ)	輸送コストの削減便益(石炭)	船舶大型化による輸送コストの削減便益(石炭)	耐震便益	残存価値	総便益(B)	純便益(B-C)
1994		2.56	1.5		1.5								-1.5
1995		2.46	11.7		11.7								-11.7
1996		2.37	29.7		29.7								-29.7
1997		2.28	80.7		80.7								-80.7
1998		2.19	97.2		97.2								-97.2
1999		2.11	118.6		118.6								-118.6
2000		2.03	86.9		86.9								-86.9
2001		1.95	70.4	0.1	70.6	18.8					18.8		-51.8
2002		1.87	37.0	0.1	37.1	23.5					23.5		-13.7
2003		1.80	27.6	0.1	27.7	25.3					25.3		-2.4
2004		1.73	25.3	0.1	25.4	23.5					23.5		-1.9
2005		1.67	16.7	0.1	16.8	22.4					22.4		5.6
2006		1.60	9.0	0.1	9.1	20.7					20.7		11.7
2007		1.54	10.1	0.1	10.2	20.3					20.3		10.1
2008		1.48	10.6	0.1	10.6	25.8					25.8		15.2
2009		1.42	23.9	0.1	24.0	24.5					24.5		0.5
2010		1.37	18.4	0.1	18.5	27.9					27.9		9.4
2011		1.32	19.8	0.1	19.9	28.2					28.2		8.4
2012		1.27	18.9	0.1	18.9	29.8					29.8		10.8
2013		1.22	13.8	0.1	13.8	29.5					29.5		15.7
2014		1.17	18.7	0.1	18.7	26.1					26.1		7.3
2015		1.12	15.0	0.1	15.1	22.4					22.4		7.4
2016		1.08	10.6	0.1	10.7	20.7					20.7		10.0
2017	1	1.04	11.9	0.1	12.0	23.7	2.4				26.0		14.1
2018	2	1.00	7.3	0.1	7.4	22.7	4.3				27.0		19.7
2019	3	0.96	10.1	0.1	10.2	21.8	4.1	1.6			27.6		17.4
2020	4	0.92	16.3	0.1	16.3	20.9	3.9	1.6			26.5		10.2
2021	5	0.89	12.0	0.0	12.0	20.2	3.8	1.6			25.7		13.7
2022	6	0.85	11.4	0.0	11.5	19.3	3.6	1.6			24.6		13.1
2023	7	0.82	8.7	0.0	8.8	18.7	3.5	1.6			23.7		15.0
2024	8	0.79		0.0	0.0	18.1	0.9	6.2	1.4	1.6	28.1		28.0
2025	9	0.76		0.0	0.0	17.4	0.8	6.0	1.3	1.5	27.0		27.0
2026	10	0.73		0.0	0.0	16.7	0.8	5.8	1.3	1.5	26.0		25.9
2027	11	0.70		0.0	0.0	16.0	0.8	5.5	1.2	1.4	24.9		24.9
2028	12	0.68		0.0	0.0	15.5	0.7	5.4	1.2	1.4	24.2		24.2
2029	13	0.65		0.0	0.0	14.9	0.7	5.1	1.1	1.3	23.1		23.1
2030	14	0.62		0.0	0.0	14.2	0.7	4.9	1.1	1.3	22.1		22.0
2031	15	0.60		0.0	0.0	13.7	0.6	4.7	1.1	1.2	21.4		21.3
2032	16	0.58		0.0	0.0	13.3	0.6	4.6	1.0	1.2	20.6		20.6
2033	17	0.56	4.7	0.0	4.7	12.8	0.6	4.4	1.0	1.1	19.9		15.2
2034	18	0.53	4.4	0.0	4.5	12.1	0.6	4.2	0.9	1.0	18.8		14.4
2035	19	0.51	1.7	0.0	1.7	11.7	0.6	4.0	0.9	1.0	18.1		16.4
2036	20	0.49		0.0	0.0	11.2	0.5	3.9	0.9	0.9	17.4		17.3
2037	21	0.47		0.0	0.0	10.7	0.5	3.7	0.8	0.9	16.6		16.6
2038	22	0.46		0.0	0.0	10.5	0.5	3.6	0.8	0.8	16.3		16.2
2039	23	0.44		0.0	0.0	10.1	0.5	3.5	0.8	0.8	15.5		15.5
2040	24	0.42		0.0	0.0	9.6	0.5	3.3	0.7	0.7	14.8		14.8
2041	25	0.41		0.0	0.0	9.4	0.4	3.2	0.7	0.7	14.4		14.4
2042	26	0.39		0.0	0.0	8.9	0.4	3.1	0.7	0.6	13.7		13.7
2043	27	0.38		0.0	0.0	8.7	0.4	3.0	0.7	0.6	13.3		13.3
2044	28	0.36		0.0	0.0	8.2	0.4	2.8	0.6	0.5	12.6		12.6
2045	29	0.35		0.0	0.0	8.0	0.4	2.8	0.6	0.5	12.3		12.2
2046	30	0.33		0.0	0.0	7.5	0.4	2.6	0.6	0.5	11.5		11.5
2047	31	0.32		0.0	0.0	7.3	0.3	2.5	0.6	0.4	11.2		11.1
2048	32	0.31		0.0	0.0	7.1	0.3	2.4	0.6	0.4	10.8		10.8
2049	33	0.30		0.0	0.0	6.9	0.3	2.4	0.5	0.4	10.4		10.4
2050	34	0.29	2.4	0.0	2.4	6.6	0.3	2.3	0.5	0.3	14.4	4.3	12.0
2051	35	0.27		0.0	0.0			2.1	0.5		2.6		2.6
2052	36	0.26		0.0	0.0			2.1	0.5		2.5		2.5
2053	37	0.25		0.0	0.0			2.0	0.4		2.4		2.4
2054	38	0.24		0.0	0.0			1.9	0.4		2.3		2.3
2055	39	0.23		0.0	0.0			1.8	0.4		2.2		2.2
2056	40	0.23		0.0	0.0			1.8	0.4		2.2		2.2
2057	41	0.22		0.0	0.0			1.7	0.4		2.1		2.1
2058	42	0.21		0.0	0.0			1.7	0.4		2.0		2.0
2059	43	0.20		0.0	0.0			1.6	0.4		1.9		1.9
2060	44	0.19		0.0	0.0			1.5	0.3		1.8		1.8
2061	45	0.19		0.0	0.0			1.5	0.3		1.8		1.8
2062	46	0.18		0.0	0.0			1.4	0.3		1.7		1.7
2063	47	0.17		0.0	0.0			1.3	0.3		1.6		1.6
2064	48	0.16		0.0	0.0			1.3	0.3		1.5		1.5
2065	49	0.16		0.0	0.0			1.3	0.3		1.5		1.5
2066	50	0.15		0.0	0.0			1.2	0.3		1.4	4.4	5.8
合計			863.0	2.4	865.5	843.5	14.4	157.6	29.5	32.5	8.7	1,086.1	220.6

③残事業:総額

(億円)

年度	施設供用期間	割引前								
		初期投資・ 更新投資	運営・維持コ スト	総費用 (C)	船舶大型化に よる輸送コス トの削減便益 (外資コンテ ナ)	輸送コストの 削減便益(石 炭)	船舶大型化に よる輸送コス トの削減便益 (石炭)	残存価値	総便益 (B)	純便益 (B-C)
2019	3	10.6	0.1	10.6						-10.6
2020	4	17.7	0.1	17.7						-17.7
2021	5	13.4	0.1	13.5						-13.5
2022	6	13.4	0.1	13.5						-13.5
2023	7	10.7	0.1	10.7						-10.7
2024	8		0.1	0.1	1.1	3.6	1.8		6.4	6.4
2025	9		0.1	0.1	1.1	3.6	1.8		6.4	6.4
2026	10		0.1	0.1	1.1	3.6	1.8		6.4	6.4
2027	11		0.1	0.1	1.1	3.6	1.8		6.4	6.4
2028	12		0.1	0.1	1.1	3.6	1.8		6.4	6.4
2029	13		0.1	0.1	1.1	3.6	1.8		6.4	6.4
2030	14		0.1	0.1	1.1	3.6	1.8		6.4	6.4
2031	15		0.1	0.1	1.1	3.6	1.8		6.4	6.4
2032	16		0.1	0.1	1.1	3.6	1.8		6.4	6.4
2033	17	8.3	0.1	8.4	1.1	3.6	1.8		6.4	-2.0
2034	18	8.4	0.1	8.4	1.1	3.6	1.8		6.4	-2.0
2035	19	3.2	0.1	3.3	1.1	3.6	1.8		6.4	3.1
2036	20		0.1	0.1	1.1	3.6	1.8		6.4	6.4
2037	21		0.1	0.1	1.1	3.6	1.8		6.4	6.4
2038	22		0.1	0.1	1.1	3.6	1.8		6.4	6.4
2039	23		0.1	0.1	1.1	3.6	1.8		6.4	6.4
2040	24		0.1	0.1	1.1	3.6	1.8		6.4	6.4
2041	25		0.1	0.1	1.1	3.6	1.8		6.4	6.4
2042	26		0.1	0.1	1.1	3.6	1.8		6.4	6.4
2043	27		0.1	0.1	1.1	3.6	1.8		6.4	6.4
2044	28		0.1	0.1	1.1	3.6	1.8		6.4	6.4
2045	29		0.1	0.1	1.1	3.6	1.8		6.4	6.4
2046	30		0.1	0.1	1.1	3.6	1.8		6.4	6.4
2047	31		0.1	0.1	1.1	3.6	1.8		6.4	6.4
2048	32		0.1	0.1	1.1	3.6	1.8		6.4	6.4
2049	33		0.1	0.1	1.1	3.6	1.8		6.4	6.4
2050	34	8.3	0.1	8.4	1.1	3.6	1.8		6.4	-2.0
2051	35		0.1	0.1		3.6	1.8		5.4	5.3
2052	36		0.1	0.1		3.6	1.8		5.4	5.3
2053	37		0.1	0.1		3.6	1.8		5.4	5.3
2054	38		0.1	0.1		3.6	1.8		5.4	5.3
2055	39		0.1	0.1		3.6	1.8		5.4	5.3
2056	40		0.1	0.1		3.6	1.8		5.4	5.3
2057	41		0.1	0.1		3.6	1.8		5.4	5.3
2058	42		0.1	0.1		3.6	1.8		5.4	5.3
2059	43		0.1	0.1		3.6	1.8		5.4	5.3
2060	44		0.1	0.1		3.6	1.8		5.4	5.3
2061	45		0.1	0.1		3.6	1.8		5.4	5.3
2062	46		0.1	0.1		3.6	1.8		5.4	5.3
2063	47		0.1	0.1		3.6	1.8		5.4	5.3
2064	48		0.1	0.1		3.6	1.8		5.4	5.3
2065	49		0.1	0.1		3.6	1.8		5.4	5.3
2066	50		0.1	0.1		3.6	1.8	12.4	17.7	17.7
合計		94.0	2.4	96.4	28.9	154.4	75.7	12.4	271.3	174.9

④残事業:現在価値換算後

EIRR=	6.8%	NPV=	33.0
B/C=	1.5		

(億円)

年度	施設供用期間	割引後									
		社会的割引率	初期投資・更新投資	運営・維持コスト	総費用(C)	船舶大型化による輸送コストの削減便益(外買コンテナ)	輸送コストの削減便益(石炭)	船舶大型化による輸送コストの削減便益(石炭)	残存価値	総便益(B)	純便益(B-C)
2019	3	0.96	10.1	0.1	10.2						-10.2
2020	4	0.92	16.3	0.1	16.3						-16.3
2021	5	0.89	12.0	0.0	12.0						-12.0
2022	6	0.85	11.4	0.0	11.5						-11.5
2023	7	0.82	8.7	0.0	8.8						-8.8
2024	8	0.79		0.0	0.0	0.9	2.8	1.4		5.1	5.0
2025	9	0.76		0.0	0.0	0.8	2.7	1.3		4.9	4.8
2026	10	0.73		0.0	0.0	0.8	2.6	1.3		4.7	4.6
2027	11	0.70		0.0	0.0	0.8	2.5	1.2		4.5	4.5
2028	12	0.68		0.0	0.0	0.7	2.4	1.2		4.4	4.3
2029	13	0.65		0.0	0.0	0.7	2.3	1.1		4.2	4.1
2030	14	0.62		0.0	0.0	0.7	2.2	1.1		4.0	4.0
2031	15	0.60		0.0	0.0	0.6	2.2	1.1		3.9	3.8
2032	16	0.58		0.0	0.0	0.6	2.1	1.0		3.7	3.7
2033	17	0.56	4.7	0.0	4.7	0.6	2.0	1.0		3.6	-1.1
2034	18	0.53	4.4	0.0	4.5	0.6	1.9	0.9		3.4	-1.1
2035	19	0.51	1.7	0.0	1.7	0.6	1.8	0.9		3.3	1.6
2036	20	0.49		0.0	0.0	0.5	1.8	0.9		3.1	3.1
2037	21	0.47		0.0	0.0	0.5	1.7	0.8		3.0	3.0
2038	22	0.46		0.0	0.0	0.5	1.7	0.8		3.0	2.9
2039	23	0.44		0.0	0.0	0.5	1.6	0.8		2.8	2.8
2040	24	0.42		0.0	0.0	0.5	1.5	0.7		2.7	2.7
2041	25	0.41		0.0	0.0	0.4	1.5	0.7		2.6	2.6
2042	26	0.39		0.0	0.0	0.4	1.4	0.7		2.5	2.5
2043	27	0.38		0.0	0.0	0.4	1.4	0.7		2.4	2.4
2044	28	0.36		0.0	0.0	0.4	1.3	0.6		2.3	2.3
2045	29	0.35		0.0	0.0	0.4	1.3	0.6		2.3	2.2
2046	30	0.33		0.0	0.0	0.4	1.2	0.6		2.1	2.1
2047	31	0.32		0.0	0.0	0.3	1.2	0.6		2.1	2.0
2048	32	0.31		0.0	0.0	0.3	1.1	0.6		2.0	2.0
2049	33	0.30		0.0	0.0	0.3	1.1	0.5		1.9	1.9
2050	34	0.29	2.4	0.0	2.4	0.3	1.0	0.5		1.9	-0.6
2051	35	0.27		0.0	0.0		1.0	0.5		1.5	1.4
2052	36	0.26		0.0	0.0		0.9	0.5		1.4	1.4
2053	37	0.25		0.0	0.0		0.9	0.4		1.3	1.3
2054	38	0.24		0.0	0.0		0.9	0.4		1.3	1.3
2055	39	0.23		0.0	0.0		0.8	0.4		1.2	1.2
2056	40	0.23		0.0	0.0		0.8	0.4		1.2	1.2
2057	41	0.22		0.0	0.0		0.8	0.4		1.2	1.2
2058	42	0.21		0.0	0.0		0.8	0.4		1.1	1.1
2059	43	0.20		0.0	0.0		0.7	0.4		1.1	1.1
2060	44	0.19		0.0	0.0		0.7	0.3		1.0	1.0
2061	45	0.19		0.0	0.0		0.7	0.3		1.0	1.0
2062	46	0.18		0.0	0.0		0.7	0.3		1.0	1.0
2063	47	0.17		0.0	0.0		0.6	0.3		0.9	0.9
2064	48	0.16		0.0	0.0		0.6	0.3		0.9	0.8
2065	49	0.16		0.0	0.0		0.6	0.3		0.9	0.8
2066	50	0.15		0.0	0.0		0.5	0.3	1.9	2.7	2.6
合計			71.7	1.1	72.8	14.4	60.1	29.5	1.9	105.8	33.0

## 2. 建設費等一覧

### (1) 建設費

項目	数量	全体事業費(億円)	残事業費(億円)
工事費			
外港地区岸壁(水深10m)		46.7	0.0
地盤改良工	190 m	2.2	0
基礎工	190 m	11.7	0
本土工	190 m	13	0
裏込及び裏埋工	190 m	6.6	0
上部工	190 m	1.5	0
舗装工	190 m	1.1	0
附属工	1 式	0.8	0
雑工	1 式	9.8	0
外港地区岸壁(水深13m)		53.5	9.9
地盤改良工	310 m	4.6	0
基礎工	310 m	12.2	0.5
本土工	310 m	18.9	2.9
裏込及び裏埋工	310 m	6.4	0.5
上部工	310 m	2.2	0.6
舗装工	310 m	0.6	0.1
附属工	1 式	1.4	0
雑工	1 式	7.2	5.3
外港地区泊地(水深13m)		90.5	0.8
浚渫工	1 式	90.5	0.8
外港地区護岸(防波)		9.7	0.0
地盤改良工	217 m	0.2	0
基礎工	217 m	1.8	0
被覆・根固工	217 m	0.7	0
本土工	217 m	3.6	0
裏込及び裏埋工	217 m	1.8	0
上部工	217 m	1.1	0
撤去工	1 式	0.1	0
消波工	1 式	0.2	0
雑工	1 式	0.2	0
外港地区防波堤(南)		3.0	0.0
地盤改良工	50 m	0.1	0
基礎工	50 m	0.2	0
被覆・根固工	50 m	0.0	0
本土工	50 m	2.6	0
上部工	50 m	0.0	0
雑工	1 式	0.1	0
外港地区防波堤(撤去)		1.7	0.0
撤去工	50 m	1.7	0.0
吉田浜地区防波堤		102.8	47.8
基礎工	830 m	39.0	22.5
被覆・根固工	830 m	4.5	2.0
本土工	830 m	55.3	22.4
上部工	830 m	3.2	0.9
消波工	1 式	0.4	0.0
撤去工	1 式	0.4	0.0
用地費及補償費			
用地費	0 式	0.0	0.0
補償費	1 式	9.7	-
間接経費		38.9	12.5
合計		356.5	71.0

※港湾請負工事積算基準及び類似事業箇所の実績より算出している。  
 ※残事業における補償費は未確定であるため間接経費に含むものとする。

### (2) 管理運営費

項目	数量	金額(億円/年)
管理運営費	1 式	0.05

※港湾管理者等へのヒアリングにより算出している。